

情報モラル教育

さいたま市立養護学校

1. 本校における情報教育の実態

本校では、養護学校という特性から、児童生徒全員がパソコンの操作性に困難がある反面、興味深く、楽しみにしている学習の1つである。小学部、中学部、高等部の各学部では、インターネットを使って教科の学習や行事の事前学習等に取り組むことがある。また、市内の小学校、中学校、高等学校との交流も行って、携帯電話を使ったメール交換を行う生徒もいる。これらの実態をふまえて、情報モラルのねらいや取り組みを行っていきたい。

2. ねらい

- インターネットや携帯メールを利用する時、相手を傷つけたり、自分が傷ついたりすることなく、気持ちよく有効に利用できるようにする。

3. 取り組み

●内容

- (1) 他校の児童生徒と携帯メールでのやりとりを行う場合のマナーやモラルについて 学習する。

- ・こちらからメールを発信する時は、気持ちよくコミュニケーションができるように、相手のことを思いやる気持ちを持って内容を考え発信することが大切であることをわかりやすい言葉で説明する。

- (2) 自分の身は自分で守ることが大切であることを学習する。

- ・インターネットの画面上に出てくるサイトには、有料なもの、セキュリティで保護されていないもの、違法なものもあるので、サイトを開く時には自分の学習目的に沿ったものを、内容をよく確かめてから開く必要があることをわかりやすい言葉で説明する。
- ・相手からいたずらや悪意のあるメールが送られてきた時は、周りの大人に知らせてアドバイスをしてもらい、適切な対処をすることが大切であることを説明する。

●実践

◎情報の授業の取り組みを通して

・高等部 Aさん

情報モラルの話に興味深く聞き、(1)(2)の内容を書いたプリントを教員と一緒に読み合わせをした。本人は、(1)(2)の内容はすでに知っており、また、インターネットや携帯メールは、教員や保護者と共に安全に行っている。

◎総合学習の授業の取り組みを通して

・ 中学部 Bさん

情報モラル（１）（２）の内容に興味を持って聞いていた。教員と一緒にプロフィールサイトやユーチューブなどを参考に開けて、有名な人や会社をアピールする文や動画を見て、こういうサイトもあるんだと実感し、悪用されると危険だと学んだ。普段は教員や保護者と共に、パソコンやインターネットを操作している。

・ 中学部 Cさん

やさしい言葉で「インターネットの画面には、お金がかかるサイトもあるし、見られてしまうサイトもあるから、むやみにあけちゃだめだよ。」というように説明した。「気をつけてね」というと、「わかった」という答えがかえってきた。

・ 中学部 Dさん

情報モラルの話に興味を示した。有料サイトやセキュリティに守られていないサイトがあることや、いたずらメール、ブログ等での書き込みで悪口やいじめの内容があることを、周りの大人たちの会話やテレビなどの情報から知っており、注意しながら、教員・保護者と操作している。

4. 成果と課題

本校では、養護学校という特性から、パソコンを使っでの学習は教員や保護者と一緒に行える範囲で実施しているというのが現状である。そこで、いつも、教員や保護者のアドバイスを受けているので、安全性が守られている状況にある。今後も、教員や保護者と共に、少しずつ着実にパソコンでの学習や、情報モラルについての認識を深めていきたいと思う。